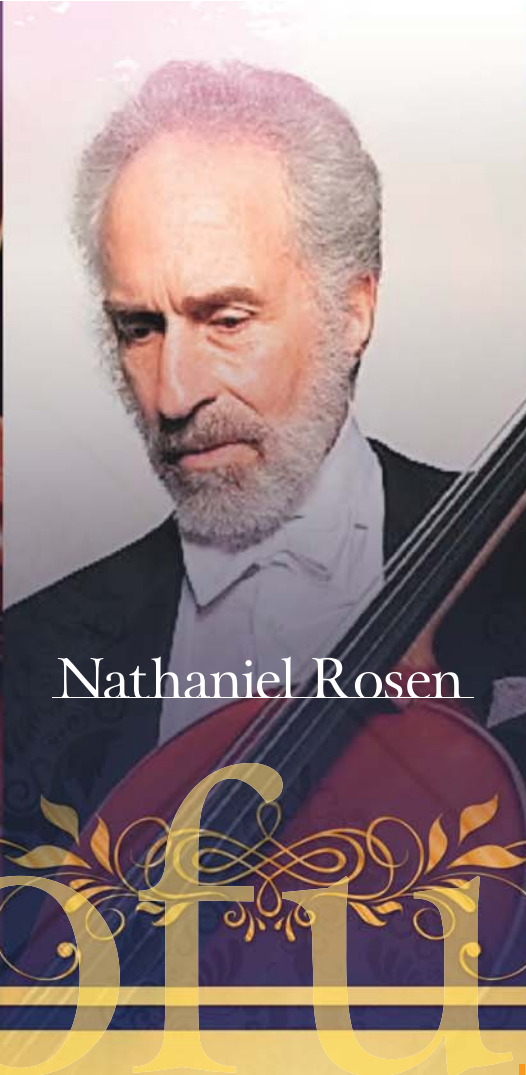


Paul Rosenthal



Nathaniel Rosen



Pierre Amoyal

# Shofusha

しょうふうしゃ

## 縦楓舎コンサートシリーズ | Vol.02

かつてヤッシャ・ハイフェッツのもとで一緒に学んだ3人が四十数年ぶりに横浜に集結!!

■日時

2016.10/9 (日)

開演4:00p.m. (開場3:30p.m.)

■会場

山手ゲーテ座ホール(横浜)

〒231-0862 神奈川県横浜市中区山手町254  
TEL 045-623-2111 FAX 045-623-2257

■曲目

シューマン ピアノ四重奏曲 変ホ長調 作品47  
Schumann Piano Quartet E♭-major Op.47  
ヘンデル／ハルヴォルセン編 パッサカリアト短調 他  
Handel/Halvorsen Passacaglia for violin and cello

※演奏曲は変更になる可能性がございます。予めご容赦下さい。

■出演

ピエール・アモイヤル(ヴァイオリン)  
Pierre Amoyal (Violin)

ポール・ローゼンタール(ヴァイオリン・ヴィオラ)  
Paul Rosenthal (Violin, Viola)

ナサニエル・ローゼン(チェロ)  
Nathaniel Rosen (Cello)

福原 彰美(ピアノ)  
Akimi Fukuhara (Piano)

■料金

6,000円

全席自由・税込み

未就学児入場不可

■予約・問い合わせ：(株)縦楓舎 ..... TEL.0553-47-5090



Pierre Amoyal (Violin)

ピエール・アモイアルは、彼の世代で最も優れたヴァイオリニストの一人である。12歳でパリ国立高等音楽院で一等賞を受賞。17歳でロサンゼルスへ旅立ち、**南カリフォルニア大学で、5年間に渡りヤッシャ・ハイフェッツの下で研鑽を積む**。その間、ヤッシャ・ハイフェッツ、グレゴール・ピアティゴルスキーとコンサートやレコーディングで室内楽を演奏する。

以来、一流オーケストラにソリストとして招かれ、世界各地で演奏をしている。近年、ロリン・マゼール指揮ベルリン・フィルとデュティユーのヴァイオリン協奏曲を共演し、大成功を収めた。

ローザンヌ音楽院の協力のもと、カメラータ・デ・ローザンヌを創立。教育者としても、若くしてパリ国立高等音楽院の教授に迎えられ、ローザンヌ音楽院教授を歴任。現在はザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院で教鞭をとる。また、ローザンヌ

Paul Rosenthal (Violin・Viola)

1942年ニューヨーク生まれ。3才よりヴァイオリンを始める。ジュリアード音楽院でイワン・ガラミアン、ドロシー・ディレイに、**南カリフォルニア大学でヤッシャ・ハイフェッツ等に師事**。エリザベト等多くの国際コンクールに入賞し、ソリストとして将来を期待されていたにもかかわらず、1969年に大自然が広がるアラスカに移住。大陸北端の村で丸太小屋に住み、1000人のエスキモーのために演奏する事を誇りとしていた。1972年アラスカのシトカに世界中から音楽家を招き、シトカ音楽祭をはじめ。40年以上にわたり音楽監督を務め、この音楽祭を世界有数の音楽祭にそだてあげた。室内楽奏者としてハイフェッツ、ルジェーロ・リッチ、ピアティゴルスキー、ミルトン・トーマス、ナサニエル・ローゼン等々錚々たるメンバーと度々共演してきた。

ナサニエル・ローゼン (チェロ)

Nathaniel Rosen (Cello)

ナサニエル・ローゼンのアメリカにおける名声は1977年、ナウムブルグ・コンクールによって得られ、翌年にはアメリカ人チェリストとしては初のチャイコフスキー国際コンクール優勝(チェロ部門ではその後、アメリカ人の優勝はない。)によって世界的名声を勝ち得た。それ以後、世界一流のオーケストラ(ニューヨーク・フィルハーモニー、ロサンゼルス・フィルハーモニー、チェコ・フィルハーモニー、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス等)にソリストとして招かれている。6才でチェロを始めたローゼンは6年後、伝説のチェロ奏者ピアティゴルスキーに出会い、弟子となる。それは師が亡くなる1976年まで続いた。その間、ピアティゴルスキーはもとより、**南カリフォルニア大学でヤッシャ・ハイフェッツにも学び、両名と数多く共演している**。日本人と結婚し、現在は山中湖の縦楓舎第二工房の隣人である。